

特定非営利活動法人海の自然史研究所  
第9期(2013年1月1日～12月31日) 事業報告

■事業の概況

第9期は、震災前より協力関係にあった南三陸町自然環境活用センターの再興のための支援を本格化させるために、町内で勤務する4名のスタッフと共に南三陸町での教育活動を本格化させました。町の復興まではまだまだ遠い道のりで、なかなか設備や環境が整わない中ではありますが、町内の関係機関と連携しながら当NPO法人も強みを生かした活動を進めています。

同時に、これまでに引き続きMAREやCRS、Poseidonの実践をすすめ、沖縄県・宮城県内外の小学校、高校生教育旅行や大学の集中講義などで海の授業やプログラムを実施しました。また人材育成プログラムとして、MAREリーダーやPoseidonを指導できるリーダーの養成ワークショップ、科学コミュニケーションのスキル習得のための講座もおこないました。とくに、これまでの教育プログラムの開発や実践、人材育成講座の実践実績から、オーダーメイド型の人材育成講座の開催もおこないました。

研究事業では、学術研究分野および教育普及啓発に関する活動で一定の業績を挙げることができました。

企画事業として、前年度より継続して、南三陸町周辺域および海洋の環境調査を受託して実施いたしました。

■教育事業概要

2013年度は、以下のような講座・セミナーの開催、海洋教育プログラムの実践などを行いました。

1. 海洋教育セミナーの開催

2月	沖縄県	第3回これからの海洋教育を考えるセミナー
3月	東京都	第4回これからの海洋教育を考えるセミナー
3月	高知県	第5回これからの海洋教育を考えるセミナー 共催:特定非営利活動法人 黒潮実感センター・高知大学教育学部・高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設

2. 海洋教育プログラムの実践・海の授業の実施

1月	愛媛県	この先、海です。プロジェクト	桜井公民館
1月	愛媛県	MARE(海辺のシャレード・プランクトンレース)	愛媛県総合科学博物館
3月	沖縄県	CRS(サンゴのテリトリーウォーズ)	沖縄県内、県外、台湾の大学生
4月	宮城県	自然史学習イベント	南三陸ホテル観洋
5月	沖縄県	CRS(サンゴのテリトリーウォーズ)	嘉手納小学校(外部講師派遣)
5月	宮城県	磯の観察会	南三陸町内小学生
6月	沖縄県	海の環境学習(フィールド学習)	嘉手納小学校(外部講師派遣)
6月	宮城県	磯の観察会	南三陸町内小学生
6月	宮城県	総合学習(ワカメの増え方)	南三陸町伊里前小学校
6月	宮城県	総合学習(磯の観察会)	南三陸町志津川小学校
7月	宮城県	自然史学習イベント	南三陸子ども自然史ワークショップ
8月	宮城県	海藻おしば	町外の保育園 OB会
8月	宮城県	自然史学習イベント	南三陸子ども自然史ワークショップ
8月	宮城県	海藻おしば	企業研修
8月	宮城県	海のステンシル	南三陸町小学生他町民
8月	宮城県	MARE(ザリガニ大研究)	南三陸町小学生
9月	宮城県	海藻おしば	企業研修
10月	沖縄県	CRS(サンゴのテリトリーウォーズ)	仲泊小学校(外部講師派遣)

10月	宮城県	標本作り体験	南三陸町民
11月	沖縄県	海の環境学習指導	仲泊小学校(外部講師派遣)
11月	東京都	サケについての授業	早稲田実業初等部

### 3. 海洋教育プログラム指導者養成講座の開催

2月	大阪府	Poseidon 指導者養成ワークショップ
11月	沖縄県	Poseidon 指導者養成ワークショップ
11月	大阪府	MARE リーダー養成ワークショップ(主催:MARE 拠点)

### 4. 海洋科学コミュニケーション実践講座の開催

2月	北海道	北海道大学函館キャンパス
3月	愛知県	蒲郡市生命の海科学館
3月	東京都	日本海洋学会
9月	北海道	日本海洋学会
11月	熊本県	東海大学熊本キャンパス

### 5. オーダーメイド型 海洋教育実践者スキルアップ講座の開催

6月	宮城	北海道大学大学院水産科学研究所 水産・海洋コーディネーター養成講座
12月	沖縄	第十一管区海上保安本部

### 6. 修学旅行生向け海洋科学講義、フィールド学習プログラムの実施

9月	埼玉県	大妻嵐山高校 事前学習講義
10月	沖縄県	中央大学杉並高校 フィールド学習プログラム
10月	沖縄県	学習院高校 フィールド学習プログラム
10月	沖縄県	大妻嵐山高校 事前学習講義
10月	沖縄県	大妻嵐山高校 フィールド学習プログラム

## ■研究事業概要

2013年度は、以下の論文等と学会講演の研究業績を挙げました。

#### <論文など>

藤田喜久・成瀬貫・山田祐介, 2013. 宮古諸島下地島の海底洞窟で採集されたカニ類 2 稀種. Fauna Ryukyuana, 1: 1-9.

藤田喜久・久保弘文, 2013. 宮古島島尻マングローブ域で発見されたキバウミニナ(軟体動物門: 服足綱: キバウミニナ科). 沖縄生物学会誌, 51: 73-77.

藤田喜久・田端 裕二, 2013. 久米島沿岸で採集された2種のイセエビ類. 久米島博物館紀要, 13: 11-17.

藤田喜久, 2013. 宮古初記録のアシナガベンケイガニ. 宮古島総合博物館紀要, 17: 81-86.

藤田喜久・岸本和雄, 2013. 2012年にヌグスクガー(野城泉)で再確認されたミヤコチスジノリ. 宮古島総合博物館紀要, 17: 87-97.

都築章子・中西一雄・藤田喜久・今宮則子・平井和也・小川貴之・平賀伸夫, 2013. 科学の本質に関する学習プログラムの実践にみられる教員養成課程の大学生の科学観. 科学教育研究, 37: 158-167.

鈴木真理子・都築章子(2013)フォーマルな教育とインフォーマルな教育のネットワーク～生涯にわたる科学の学びに向けて～, 科学教育研究, 37(1), pp.61-64.

小川貴之・平賀伸夫・藤田喜久・都築章子・今宮則子・平井和也, 2013. COSIA「科学の本質と実践」の教員を対象とした実践と評価. 臨床教科教育学研究, 13: 27-35.

都築章子・今宮則子・藤田喜久・平井和也・クレッグ ストラング, 2013. 海洋科学教育・海洋科学コミュニケーション教材としての MARE の役割. 科学技術コミュニケーション, 14: 32-43.

David, W., Fujita, Y., & Santos, S.R., 2013. Multiple colonizations lead to cryptic biodiversity in an island ecosystem: Comparative phylogeography of anchialine shrimp species in the Ryukyu Archipelago, Japan. *The Biological Bulletin*, 225: 24-41.

藤田喜久, 2013. ウミシダ類に共生する十脚甲殻類に関する話題. *CANCER*, 22: 65-69.

橋爪勇樹・平賀伸夫・小川貴之・藤田喜久・都築章子・今宮則子・平井和也, 2013. 「教員の授業改善を目的とした COSIA セッション 3「教授と学習」の試行と評価」. *臨床教科教育学会 臨床教科教育学会誌* 第 13 巻第 2 号

#### <学会発表>

藤田喜久・成瀬 貫・久保弘文・伊勢優史, 2013. 宮古諸島下地島の海底洞窟の無脊椎動物相. *沖縄生物学会 第50回大会* (2013 年 5 月 25 日).

岸本和雄・香村眞徳・藤田喜久, 2013. 宮古島の湧水で確認された淡水産緑藻チョウチンミドロについて. *沖縄生物学会 第50回大会* (2013 年 5 月 25 日).

太田悠造・藤田喜久・広瀬慎美子, 2013. 宮古島の淡水域におけるウミクワガタ類幼生 *Gnathia* sp. の出現 (ワラジムシ目). *日本甲殻類学会 第 51 回大会*, 札幌 (2013 年 11 月 30 日~12 月 1 日)

藤田喜久・笹井隆秀, 2013. 絶滅危惧種ミヤコサワガニの繁殖生態と外来生物による捕食の実態 (予報). *日本甲殻類学会 第 51 回大会*, 札幌 (2013 年 11 月 30 日~12 月 1 日)

#### <一般向け講演など>

2013 年 7 月 28 日: 「沖縄・生物・ありんくりん」, 平成 25 年度 自然史学会連合講演会「みる! きく! さわる! 博物館 ~五感で感じる生物多様性~ (会場: 沖縄県立博物館・美術館)

2013 年 8 月 27 日: 「ナンハナリサンゴ大群集の現在(いま): 大群集の発見、台風による被害、そして回復」, 久米島博物館主催講演会

2013 年 9 月 7 日: 沖縄市立郷土博物館 子供博物館「アーシヌウミーのいきものがし」.

#### ■企画事業概要

南三陸町から受託した町周辺域の環境調査事業を通年で実施しています。